

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。
本コーナーでは、市の「市史編さん事業」で分かった遠野の歴史文化や、遠野遺産などについて紹介します。



江戸時代の石碑を 小友町の川の中から発見

写真の石碑は昨年11月、小友町を流れる長野川と鷹島屋川の合流点から、河川工事の際に発見されました。大きさは縦263センチ、奥行き51センチ。重機で川底から川岸へ引き上げました。

石碑正面には「金毘羅大権現」、側面には天保14(1843)年の年号や「長野」の文字、願主の男性14人の名前が刻まれていました。長野地区を中心とした人々が金毘羅大権現への参詣を記念して建立した石碑と考えられます。

金毘羅大権現は、香川県にある現在の金刀比羅宮の旧称で、江戸時代後期には金毘羅参りが全国的に盛んに行われました。遠野でも1800年代に、金毘羅大権現をはじめとする参詣記念の石碑が多



小友町を流れる川の合流点で発見された石碑



石碑は巖龍神社総代会によって同神社の境内に再建立されました

く建てられていることから、人々は流行にのって参詣の旅へと出かけていたと考えられています。石碑の発見場所が巖龍神社にほど近かったため、巖龍神社の総代が対応を検討。当時建立した人たちの思いを考えればそのままにしておくわけにはいかないと、巖龍神社の境内にあらためて建立することを総代会で決めました。再建立のための工事は地元企業によって11月23日にはじまり同月中に完了。長年埋もれていた文化財が、地域住民の手によって掘り起こされ、次の世代へとつながりました。

第143回

遠野遺産

The Tono Heritage

遠野遺産認定第9号「複合遺産」

山口の水車小屋とこんびり

推薦者 土淵町山口地区自治会



国選定重要文化的景観に選定されている土淵山口集落にあるかやぶきの水車小屋と、その水車を利用して作るこんびり。昨年度遠野遺産に追加されたこんびりは、農作業などの休憩時間に食べた間食の総称で、焼きもち、きりせんしょなどがあります。山口集落では、昔は水車で引いた粉を使って作っていましたが、水車の老朽化によりその作り方は途絶えていました。平成27年度に水車が修理され、現在は「火伏せ」「薬師堂まつり」の直会など集落の年中行事でふるまわれています。



MEMO

- 〔注〕 土淵町山口2地割9番地
- 〔交〕 JR遠野駅から車で約18分
- 〔問〕 土淵地区センター(☎62-2837)

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



1



2



3

1_宮本隊員。市内企業のホームページなどを制作
2_「で・くらす広報誌」の制作ワークショップをしている様子
3_遠野の方が講師をしている金継ぎ教室に1年間通い、金継ぎができるようになりました



「より多くの人の 力になれるように」

宮本 拓海 隊員 奥州市出身・26歳(2019年7月着任)

Q 活動内容を教えてください
ネクストコマンスラボ遠野の事務局メンバーとして広報を担当しているほか、遠野市の事業や企業の広報・PRをするためのホームページやリーフレットの制作などを行っています。昨年は市内7つの企業・団体の制作物の進行ディレクション(進行管理)や編集を担当

当らせていただきました。また、つくる大学(下記参照)の事業内容を説明するパンフレットも作成中です。
Q 活動での
気付きを教えてください
ホームページやリーフレットを作るために、遠野で事業に携わる人たちが取り組みにかける思いや

移住し、挑戦中! 宮本さんのプロジェクト 「観光・物産振興」 (地域文化プロデューサー)

目指す姿をお伺いする機会が多くありました。これまで一緒にプロジェクトに取り組みさせていただいた人たちの話をじっくりお聞きする中で、自分自身だけでなく、より多くの人のとっていいサービスや仕組みをつくるためにとても前向きな気持ちで動いていることが感じられました。

Q 今後の目標を教えてください

3年間の地域おこし協力隊としての任期のうち、半分が過ぎました。これまで関わってきた人を含め、より多くの人たちの取り組みに協力できるいいなと思っています。また、まだまだ遠野で訪れたことのない施設やお店がたくさんあるので、それぞれに何うことができたかとも思っています。遠野をより知るための機会をどんどんつくっていきたくです。楽しいことがあれば、ぜひお声がけください!

宮本隊員

つくる大学

宮本拓海隊員が運営に携わっている「つくる大学」は令和2年度、内閣府の関係人口創出・拡大のための提案型モデルの採択を受け、社会変化により新たに必要となった知識やスキルを互いに学ぶ場の創出に取り組んでいます。



講座やイベント開催中!

詳しくは、つくる大学ホームページ(左記QRコード読み取り)

■つくる大学運営事務局

Mail → tsukuru-univ@nextcommons.co.jp

HP → https://note.com/tsukuru_univ